

資料4

●自由意見

<p>機関及び団体</p>	<p>日頃いじめ問題に取り組む上で課題となっていること</p>
<p>市町村教育委員会連合会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの認知・対応について、学校間・教職員間で差があること。
<p>県中学校長会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題に係る法的な対応 ・ いじめ問題に係る保護者との連携・対応について
<p>県公立高等学校長協会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内での情報モラル教育に努めているが、スマートフォン の普及により、SNSでの誹謗中傷や画像(肖像権)に係る問題など無くならない。学校現場では把握が難しく対処している。
<p>県人権擁護委員連合会</p>	<p>平成27年度から中学校でのいじめをなくすための人権教室に取り組んでいる。啓発活動の一つとして取り組んでいる全国中学生人権作文コンテストの入賞作品の中からDVD化されている「リスペクトアゲース」を使用した人権教室では、少人数グループに人権擁護委員が一人ずつATとして参加する形で行っている。生徒の言葉を傾聴し、共感しながらの人権教室にしていきたいと考えている。人権教室希望校決定までの手続きや希望校との日程調整、内容の共通理解のための打ち合わせの時間の確保、又、参加する委員の研修及び日程調整等、課題は多い。</p>